

# がまこおり 議会 だより

## 3月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～ 7
議決された主な議案……………	8～ 11
平成 31 年度一般会計予算 295 億 7,200 万円	
議会日誌、5 月臨時会予定等 ……	12

NO. 102  
2019.5



海のまち蒲郡で、はじめてのお出迎え。／ダイヤモンド・プリンセスが蒲郡に初寄港



# 一般質問…ここが論点

3月市議会定例会中、2月27日、28日、3月4日の3日間で、3人の議員が会派を代表して質問し、9人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、蒲郡市議会ホームページ (<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/gikai/>) の会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

また、インターネット上でライブ中継と録画中継も実施していますので蒲郡市議会ホームページからご覧ください。

## ■ 各会派代表質問

日程	会派名及び議員名	主な質問の項目
2月27日(水)	自由民主党蒲郡市議団代表 大 向 正 義	予算大綱を決めた、国内外、蒲郡市の状況把握 堅実な行財政運営 <a href="#">産業の振興・働く場の確保</a> <a href="#">安全で住みやすい、魅力ある町づくり</a> <a href="#">市政運営のための財源確保</a> <a href="#">市民体育館</a>
	蒲郡自由クラブ代表 牧 野 泰 広	<a href="#">堅実な行財政運営</a> <a href="#">産業の振興・働く場の確保</a> <a href="#">安全で住みやすい、魅力ある町づくり</a>
	公明党蒲郡市議団代表 大 竹 利 信	<a href="#">堅実な行財政運営</a> <a href="#">産業の振興・働く場の確保</a> <a href="#">安全で住みやすい、魅力ある町づくり</a>

## ■ 個人質問

日程	議員名	主な質問の項目
2月28日(木)	柴 田 安 彦	<a href="#">公共施設マネジメントと市民体育館建設</a> 水道事業のコンセッション導入 蒲南土地区画整理事業
	竹 内 滋 泰	有害鳥獣被害防止対策 豚コレラ <a href="#">市民の足確保策</a> 市民病院の安定経営
	松 本 昌 成	消費税率引き上げ対策 <a href="#">幼児教育・保育無償化</a> <a href="#">風しん対策</a>
	尾 崎 広 道	<a href="#">都市計画道路</a> <a href="#">280MHz デジタル同報無線防災ラジオ</a> <a href="#">投票率向上のための取り組み</a>
	青 山 義 明	<a href="#">ダイヤモンド・プリンセス寄港</a> <a href="#">企業誘致</a>
3月4日(月)	鎌 田 篤 司	<a href="#">蒲郡南地区等のまちづくりと公共施設マネジメント</a> <a href="#">南海トラフ巨大地震の対応</a> <a href="#">教育関係施設での市制 65 周年記念事業</a>
	来 本 健 作	大塚・相楽・海陽町における諸課題 <a href="#">産業振興</a> 蒲郡市の未来
	日 恵 野 佳 代	市の財政は市民の暮らし優先に <a href="#">家庭ごみ収集の有料化</a> 公共施設マネジメント <a href="#">シニア世代からの暮らしの質を保つ取り組み</a> 若い世代が住みたいと思える取り組み
	鈴 木 貴 晶	<a href="#">歳出削減・歳入増</a> ナビテラス

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。

自由民主党蒲郡市議団  
代表 大向正義

市民病院の安定経営  
について

**問** 平成30年4月から始まった人間ドック事業の概要と実績について伺う。

**答** 30年度は平日週5日を健診日とし、うち水曜日は女性の医師、放射線技師による婦人科検診を行っている。受診者は1000名弱となる見込みである。

**問** 31年度は、第1・3土曜日も健診日とする予定で、受診者は1500名と見込んでいる。

教育環境の充実について

**問** 教員の残業減への業務見直しについて伺う。

**答** 文部科学省はガイドラインで、一カ月の超過勤務時間の上限を45時間と示した。現状では難しい目標だが、これをチャンスと捉え、社会の変化に対応し



た人づくり・まちづくりのシステム構築につなげたい。

**問** 部活動ガイドラインについて伺う。

**答** 部活動の大幅な見直し等、今後を方向づける内容で、4月には各学校で公表できるよう準備する。

超高齢社会に対応した  
施策の充実について

**問** 寿楽荘の利用者増のための送迎バス試験運行について伺う。

**答** 4月から毎週月曜日に三河三谷駅との間で実施する。

**問** 老人クラブへの加入促進施策について伺う。

**答** 活動内容を紹介する友愛クラブだよりを年1回全戸配布している。引き続き、新規加入促進映画鑑賞会など会員以外の参加可能な行事を広報で周知していきたい。

**問** 老人クラブ担当職員を増員する考えは。

**答** 増員は難しいが、老人クラブや社会福祉協議会と連携し、老人クラブ活動の活性化に努めていく。

地球温暖化対策について

**問** ごみの資源化・減量化の取り組み、廃油回収事業について伺う。

**答** ごみ処理の長期的な基本方針である「ごみ処理基本計画」を策定し、資源化・減量化を推進している。31年度はごみ処理の有料化も含めた施策の検討を進め、計画の改訂を行う。今後は、さらなるごみの減量化を推進し、資源回収団体育成奨励金の交付を引き続き行う。

廃油回収事業では、市の廃油回収ステーションの新

規設置等、資源化施策を充実させながら、市民の意識を高め、リサイクル率の向上を図っていく。

モーターボート競走事業  
の市への貢献について

**問** 市の財政への貢献を分かる形にするため、教育・子育て支援基金や防災基金を創設してはどうか。

**答** 31年度は地域貢献事業として防犯灯等のLED化を行う。基金創設は今後の検討課題としていく。

市民体育館について

**問** 自由民主党蒲郡市議団がアンケート調査を行った結果、346件の回答があり、79.5%が新体育館建設を望む意見であったが、この結果をどのように考えるか。

**答** アンケートは、総合体育館基準の約半分の学費を学校体育館基準での費用を示した上での質問であったと認識している。市としては、早急な安全性の確保を考慮



現在の市民体育館

して耐震・長寿命化の方針を決定した。

**問** アンケートでは80%近くの人々が新体育館建設を希望しているが、耐震・長寿命化を行うという結論に至っている。市民の声が届いていないと考えられるが、市の施策に対して市民の声を反映させることへの考えは。

**答** 市政運営では市民の声は最も重要である。様々な計画作りや施策の方向性の検討の際には市民意識調査やアンケート等を行い、結果を踏まえ事案ごとの状況に応じた対応を行っている。今後でもできる限り市民の声に寄り添い、市政運営に反映していきたい。

市債残高について

**問** 過去5年間の推移と今後の見込みは。

**答** 全会計で平成25年度末が約498億円に対し、29年度末は約437億円、約61億円減少している。今後は小中学校普通教室等空調設備工事等により多少の増加が見込まれる。

**問** 今後の市債残高に対する考えは。

**答** 長期的には返済額より多く借入れをしないことを念頭に発行を抑制しつつ、必要な公共事業等を



推進するために、市債を財源として活用していく。

タブレット端末の今後の活用について

**問** 31年度に議会においてタブレット端末が導入されれば、ペーパーレス化を初めとして幅広い用途が考えられる。市長部局も業務の効率化を考えた導入を検討すべきではないか。

**答** 31年度から段階的に業務で活用し、効果の検証を進めていくことを予定している。

**問** 災害時の活用という点では、どう考えるか。

**答** 情報収集や現場での対応の迅速化につながることを期待できるため、必要な環境整備や運用方法の整理を進めていきたいと考えている。

MICEの今後は

**問** 今後、どのような展開を検討しているか。

**答** MICEとは、会議、研修旅行等、多くの集

客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称である。市内には大型の宿泊施設が多くあり、団体旅行の誘致は非常に重要であると考えている。県内に集積している大企業からの誘客を図るため、市観光協会では、社員研修の一つであるチームビルディングに着目しており、蒲郡ならではのチームビルディング向けのコンテンツを活用した誘客に向けて検討を進めていると聞いている。

空家等解体費補助金について

**問** 空家対策の取り組みと補助金の概要は。

**答** 25年に空家等適正管理条例を制定し、市民からの情報提供に基づき、適正管理について所有者等に通知したり、特に緊急性の高い危険な建物の解体など緊急安全措置を実施してきた。28年には各地区の総代の協力で実態調査を行った。その後、改正した条例に基づき、対策協議会を設置して、対策計画の策定を進め

ている。今後は計画に沿って対策を実施していく。

解体費補助金は1件20万円、対策計画に基づき、危険な空家の解体促進のため、老朽化した空家を対象とする。国の交付金と県の補助金を活用し、対策計画の施行に合わせた補助金交付の実施を目指す。

骨髄提供者助成事業について

**問** 事業の概要と事業費の内訳は。

**答** 提供者の経済的な負担を軽減し、提供者が勤務する事業所への理解を得やすくするため、提供者と事業所に助成金を交付する。本市での過去3年間の提供者は1人だったため、予算は1人分とした。骨髄採取等のため7日間程度の入院や通院が必要となるので、提供者に1日2万円、事業所に1日1万円をそれぞれ7日分で計算し、あわせて21万円を予算計上している。なお、31年度から県が市町村の行う事業に対して補助金の交付を予定している。

名鉄西尾・蒲郡線の存続を

**問** 今後の継続運行の見通しと市の関連計画について伺う。

**答** 運行継続の決まっていない令和3年度以降については、名鉄、西尾市と平成31年度には協議を開始し、早い段階での運行継続を公表できるよう調整していきたい。総合計画等には利用促進等に関する記載があり、関係団体等と協力し、恒久的な運行継続のため利用促進活動を進めていく。



乗って残そう名鉄西尾・蒲郡線

公明党蒲郡市議団  
代表 大竹利信

消費税率の改正について

**問** 今後の使用料等の見直し予定、周知方法は。

**答** 施設等の受益者負担額等の状況を確認し、使用料等見直し検討委員会で協議、検討していきたい。改正の際は広報等で周知し、理解されるよう努めていく。

柏原地区企業用地について

**問** 用地売却先の募集方法と応募状況は。

**答** 事業者からの価格や事業内容等の提案をもとに売却先を選定するプロポーザル方式で行い、市内外から3社の応募があった。

市民病院の安定経営について

**問** 平成31年度の医療機器導入予定と企業債の返



地域医療を支える市民病院

済計画は。

**答** 手術支援ロボットのダヴィンチ等の購入で5億7千万円を予算計上し、うち4億5千万円の購入に

**問** 対して、企業債を財源に活用する。耐用年数に合わせた償還期間5年据置1年の計画で返済する予定である。名古屋市立大学との再生医療に関する協定の

内容と課題は。

**答** 市民病院での再生医療の立案や実際の治療の際には大学から技術指導を受ける内容となっている。

また、適応患者への周知と再生医療提供計画の作成にあたり、医師と事務職員の一層のスキルアップ等が課題である。

280MHzデジタル同報無線システム整備事業について

**問** 事業の内容とシステムのメリットは。

**答** 防災ラジオの不感地帯の解消のため、情報入力のための配信局と電波を送る送信局各1局を整備する。メリットとしては、端末が60MHzデジタル戸別受信機より比較的安価で、基地局1局で広範囲をカバーでき、屋内で受信しやすいことが挙げられる。



280MHzデジタル同報無線防災ラジオ

柴田安彦（無党派）

公共施設マネジメントと市民体育館新設について

**問** 体育館は耐震・長寿命化改修工事により、安

全性と駐車場不足の問題は解決する。早急に新設する必要はなく、公共施設マネジメント実施計画の耐震・長寿命化方針に基づき維持・管理していけばよいと考えるが、早期に新設する理由は。

**答** 体育館の早期新設は、市民や施設利用者のニーズであると認識している。今回の工事の主な目的は、

耐震補強と老朽化した設備の更新であり、一部の競技で正式な競技面積の確保ができないという課題解決も含めて新設は必要である。

**問** 体育館利用者と、できるだけ長く使って施設更新の際には3割の床面積が縮減される他の施設利用者との間に不公平が生じると考えるが、市の認識は。

**答** 他の施設とは異なり、この実施計画が動き出

す前から体育館新設の議論をしてきたからである。

竹内滋泰（自民党市議団）

市民の足の確保について

**問** 東部地区でのコミュニティバスの運行予定は。

**答** 令和元年10月1日に運行開始できるよう、協議会を毎月開催している。週3日（火・木・土）、1

日につき7便、豊岡町、平田町、五井町を巡回し、地



形原地区のあじさいくるりんバス

域の高齢者の足確保を重点的に考え、市民病院、スーパーマーケット等を停留所にする予定である。

また、三河三谷駅に接続することで、ライダー路線として国の補助金の活用を計画している。

**問** 三谷地区でのコミュニティバスの計画は。

**答** 東部地区のコミュニティバスが三河三谷駅に接続することから、東部地区の交通空白地の解消が三谷地区においても役立つことになればと考えている。今後も必要があれば、三

谷地区でも本市の公共交通の現状、コミュニティバスの運行状況等の勉強会、説明会を行っていききたい。

### 松本昌成（公明党市議員）

**幼児教育・保育無償化**  
について

**問** 事業内容と市民への周知について伺う。

**答** 3歳から5歳児（0歳から2歳児は住民税非課税世帯が対象）の保育園等の利用料を無償化する。



認可外保育施設等も条件付きで無償化の対象とする。今後、国から示される情報をもとに保育園等で説明会を行うとともに、広報等で子育て世代への周知を図っていききたい。

### 風しん対策について

**問** 事業内容と検査の受診率向上への取り組みは。

**答** 風しんの発生や蔓延予防のため、抗体価が低い昭和37年4月2日から54年4月1日生まれの男性を対象に抗体検査を行い、必要な方に予防接種を実施する。休日や夜間など受診しやすい環境を整え、職場や本人の検査への意識を高めるよう周知していききたい。

### 尾崎広道（自由クラブ）

**都市計画道路の見直し**  
について

**問** 見直しに伴う建築制限の緩和の内容は。

**答** 建築許可の階数を2階建てから3階建てへ緩和する予定である。

**デジタル式防災ラジオ**  
について

**問** デジタル式防災ラジオで大塚・西浦地区等の不感地帯は解消されるのか。

**答** 市内全域で受信感度が30dB以上に相当する電界強度が得られることを確認した。

**投票率向上のための**  
取り組みは

**問** 期日前投票所の複数設置や豊田市のようにバス型投票所を投票率の低い地区に開設してはどうか。

**答** 複数設置は引き続き研究していききたい。また、バス型投票所も二重投票を

### 企業誘致について

**問** 柏原地区の次の企業用地造成について伺う。

**答** 市内外の企業20社から用地の需要を伺い、現在、次の候補地としていたところも含め、複数の民間開発計画が進んでいる。民間開発は、企業のニーズにあった用地の開発ができ、市の開発より早い企業立地が見込まれる。引き続き、市による開発も検討するが、民間開発計画が具体化されれば、それを優先し、側面的な支援を行い、早期の企業立地の実現に努めたい。

### 鎌田篤司（自民党市議員）

**蒲郡中学校区の**  
公共施設マネジメントは

**問** ワークショップでの意見について伺う。

**答** 高潮の浸水予想に含まれる府相保育園の再配置や、蒲南小と竹島小の児童数の推移を見据えた学校規模への意見が多かった。



防く環境の整備とその効果等を研究していききたい。

### 青山義明（自民党市議員）

**ダイヤモンド・プリンセス**  
寄港について

**問** 令和2年の蒲郡への寄港について伺う。

**答** 4月3日と11月12日の寄港が決定している。乗船客には思い出に残る寄港となり、また、市民にとって良い交流体験の場となるように歓迎事業を行いたい。

**災害時における要配慮者の避難所への誘導は**

**問** 要配慮者の把握方法について伺う。

**答** 災害対策基本法に基づき、障害者や要介護高齢者の名簿を作成し、個人情報提供に同意された方を台帳に登録している。

**教育関係施設での市制65周年記念事業は**

**問** 図書館で予定している記念事業について伺う。

**答** 大塚・中島城主の子孫で開国の立役者といわれる岩瀬忠震展や蒲郡の戦国時代展、図書館50周年のあゆみ展を予定している。

**来本健作（無党派）**

**今後の観光振興について**

**問** 今後の観光振興策や方向性について伺う。

**答** 本市には、美しい海の眺めの他にも県内で最も充実した温泉宿泊施設や



蒲郡市の観光シンボル竹島

竹島水族館、ラグーナテンボス等の観光施設がある。このように多彩なコンテンツがあるため、様々な年代にアプローチが可能であり、各年代に向けたプロモーションを考え、PRしていきたい。また、平成31年度に開催予定のアフター愛知デスティネーションキャンペーンに向けて、関東圏や関西圏の在住者に蒲郡の魅力や素晴らしさが届くようPRに努めていきたい。

その他の質問

- 1 大塚金野線と豊岡大塚線
- 2 さがらの森
- 3 海陽町地内の未利用地
- 4 連携や合併等、持続可能な蒲郡市の未来像

**日恵野佳代（無党派・日本共産党）**

**家庭ごみ収集の有料化について**

**問** 市と市民の努力により、ごみの排出量は減っている。しかし、市は紙ごみやプラスチックごみの分別などを市民にしっかりと説明していない。市役所内の雑紙の分別をようやく始めたばかりである。そのような状況で、ごみ処理の有料化を市民に押し付けるのか。

**答** 引き続き、ごみの減量化に取り組むが、有料化も一つの選択肢として研究を続けたい。



資源ごみステーション

**答** シニア世代の交流の場を求める声がある。旧看護専門学校跡地や公民館を活用できないか。

**問** シニア世代の交流の場を求める声がある。旧看護専門学校跡地や公民館を活用できないか。

**答** 旧看護専門学校跡地は図書館の駐車場として使用する予定である。また、公民館での談話スペースとしての部屋の貸し出しは、要望があれば指定管理者と協議し、検討する。

**鈴木貴晶（自由クラブ）**

**歳出削減・歳入増について**

**問** 公共施設の電力自由化について、平成30年度までの取り組みと歳出削減効果について伺う。

**答** 高圧電力供給契約については、削減効果の見込める実施可能な施設から、順次競争入札に切りかえて

いる。平成24年度以降、市役所庁舎など全27施設で総額にして約3億6千万円の削減を見込んでいる。低圧電力供給契約については、入札にあたり、まともった使用電力量が必要となり、実績はない。今後、先進自治体の取り組みを研究したい。

**問** 企業版ふるさと納税の取り組みについて伺う。

**答** 31年度に制度を活用するため、公園グラウンド野球場の改修工事を対象事業として国に申請した。プロ野球公式戦や大規模な大会の開催、スポーツ合宿の誘致など野球場を核とした新たな人の流れを創出し、地域を活性化させたい。

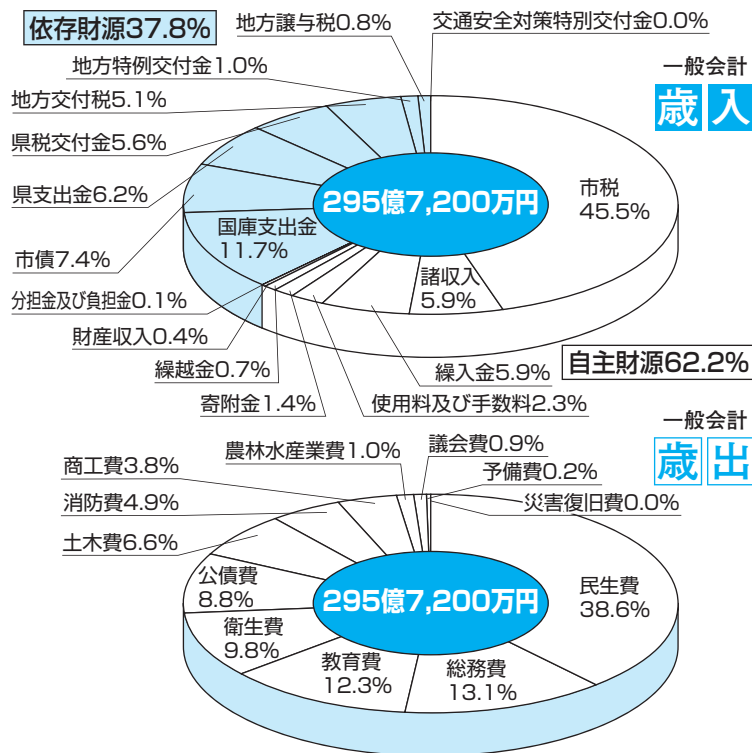


# 平成31年度一般会計予算 などを議決



3月市議会定例会は、2月25日から3月19日までの23日間の会期で開き、議案44件、決議案1件を審議しました。

平成31年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



## 平成31年度予算

会計別	予算額	前年度比	
一般会計	295億7,200万円	1.1%増	
特別会計	国民健康保険事業	72億8,970万円 3.6%減	
	後期高齢者医療事業	21億2,690万円 3.7%増	
	土地区画整理事業	12億7,900万円 12.8%減	
	企業用地造成事業	2億7,700万円 40.0%増	
	公共用地対策事業	1億3,570万円 1.2%減	
	三谷町財産区	3,040万円 4.7%減	
	西浦町財産区	1,310万円 増減なし	
	小計	111億5,180万円 20.4%減	
	企業会計	水道事業	収益的: 19億1,740万円 0.7%増 資本的: 10億7,430万円 2.8%減
		下水道事業	収益的: 23億7,950万円 - 資本的: 19億7,340万円 -
病院事業		収益的: 83億3,250万円 2.5%増 資本的: 13億5,350万円 17.4%増	
モーターボート競走事業		収益的: 935億1,990万円 0.4%増 資本的: 35億2,680万円 14.1%増	
小計		1,140億7,730万円 5.1%増	
合計		1,548億110万円 2.0%増	

※下水道事業は、平成31年度より企業会計になります。

## 予算審査 特別委員会から

2月25日の本会議で、正副議長を除く18人の委員で構成する予算審査特別委員会（委員長 松本昌成、副委員長 広中昇平）が設置されました。委員会では、3月11日から14日までの4日間にわたり、平成31年度一般会計予算など12会計予算を慎重に審査し、全会計の予算を可決すべきものと決しました。

なお、一般会計予算に対する附帯決議案が、大向正義委員ほか3名から提出されましたが、否決されました。



**問** 住宅が蒲郡市立地適正化計画に定める居住誘導区域内にあることが交付条件だが、例えば、子世帯が新たに取得する住宅が区域内、親世帯が区域外でも条件を満たすか。他にも様々な場合が考えられるが、指針、取扱要綱等を作成するのか。

**答** 新たな住宅取得を区域内に誘導するための施策で

**問** 補助金の交付条件となる近居とは。

**答** 子世帯と親世帯が隣接小学校区内または直線距離で2km以内に居住することと定めている。

**問** 住宅が蒲郡市立地適正化計画に定める居住誘導区域内にあることが交付条件だが、例えば、子世帯が新たに取得する住宅が区域内、親世帯が区域外でも条件を満たすか。他にも様々な場合が考えられるが、指針、取扱要綱等を作成するのか。

**答** 新たな住宅取得を区域内に誘導するための施策で

○ 一般会計予算  
■ 歳出  
● 総務費  
● 三世帯同居・近居促進補助金



■ 3月定例会の日程

《2月》

- 25日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、予算大綱説明、議案説明など〕  
予算審査特別委員会
- 27日 本会議〔一般質問〕  
議会運営委員会理事会  
議会運営委員会
- 28日 本会議〔一般質問〕

《3月》

- 4日 本会議〔議案説明、一般質問〕
- 6日 総務委員会
- 7日 経済委員会
- 8日 文教委員会
- 11日～14日 予算審査特別委員会
- 14日 議会運営委員会理事会  
議会運営委員会
- 19日 本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

もあるため、子世帯が新たに取得する住宅が区域内であれば対象となる。

対象になるかどうかの判断で窓口が混乱しないように、チェックリスト等を作成する予定である。

● 民生費

認知症高齢者賠償責任保険

**問** 本人や監督義務を負う家族に損害賠償責任が及ばないように、認知症高齢者を被保険者として保険会社と保険契約を結ぶ市町が全国的に増えてきた。本市が結ぶ賠償責任保険契約の内容とその被保険者は。

**答** 契約の内容は、責任能力のない認知症高齢者が他人に損害を与えてしまった場合、相手に最大1億円を補償するものである。

また、市内に住所を有する65歳以上の高齢者で、①要介護・要支援認定者のうち、主治医意見書の日常生活自立度がⅡa以上、②医療機関で認知症と診断された、③過去に安心ひろめーるで搜索を依頼されたことがあるのいずれかに該当する方を被保険者とすることを考えている。

● 衛生費

子育て応援アプリ事業

**問** どういったアプリを導入するのか。

**答** 既存のアプリから選定



することを考えているが、予防接種のスケジュールの自動調整機能、いわゆるガラケーへの対応、機種変更の際のデータ移行の可否を考慮し、できるだけ多くの人に利用していただけるアプリを選定したい。

**問** アプリの取得をどのように促すか。

**答** 子育て世代包括支援センターでの母子手帳の交付時の面談、こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健診の際に保健師からアプリの取得を促す。さらに、保育園、小中学校等とも連携し、周知していきたいと考えている。また、QRコードを活用するなど簡単にアプリを取得できるように工夫をし

ていきたい。

● 商工費

みかわdeオンパク事業 負担金

**問** 事業内容について伺う。

**答** みかわdeオンパクは23年度から始まり、当初、蒲郡市のみであった対象エリアは、東三河全域、岡崎市、西尾市、南知多町、30年度には常滑市や半田市まで広がっている。地域の住民や事業者が、三河らしい、三河ならではのまちの魅力を体験プログラムとして具体化し、それを観光客が楽しめる機会を設けることで、地域を活性化させるという目的で実施している。

● 教育費

公園グラウンド野球場等 改修事業

**問** 事業内容について伺う。

**答** 公園グラウンド野球場は建設から45年が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。内野グラウンドの整備、防球フェンスや内外野壁面セーフティウォールの更新、スコアボードの電光掲示板化、高圧受変電設備の改修を行うとともに、観客席及び管理棟の耐震改修に向けた実施設計を行い、利用者の安全性や快適性の向上を図る。

この事業は、対象エリアが三河全域へ広がったことで、三河全体の「温泉泊覧会」といえるものになってきている。

**問** 事業経費について伺う。

**答** 収入は、負担金や広告収入、繰越金となっている。支出は、広報費として、ホームページ・パンフレットの作成、SNS対策、新聞・雑誌等の広告宣伝費に使われている。



公園グラウンド野球場

**問** 今後の展開は。

**答** 今回の施設整備により、利用環境は良くなつていくと思つている。今後は設備の整つた野球場であることをPRし、引き続き、ウエスタン・リーグ公式戦を開催するとともに、スポーツ合宿や大規模な大会の誘致を目指していきたい。

○**水道事業会計**  
年度末給水栓数は、3万4112栓、1日平均給水量2万6858m<sup>3</sup>を予定しており、収益的収支は1億1520万円の黒字予算です。

○**下水道事業会計**  
処理区域面積は1157ha、処理区域内人口は5万6717人、年間有収水量は579万m<sup>3</sup>を予定しており、収益的収支は4億60万円の赤字予算です。

○**病院事業会計**  
1日平均入院患者数を286人、外来は700人と見込み、収益的収支は1億3170万円の赤字予算です。収益的収入と資本的収入で合計15億円をモーターボート競走事業会計から繰り入れます。

○**モーターボート競走事業会計**  
年間192日の開催を予定しており、収益的収支は20億7790万円の黒字予算です。この会計から土地区画整理事業特別会計に8億円、下水道事業会計に6億円、病院事業会計に15億円を支出します。

**条例の改正**  
●**消防団に支援団員制度を導入**  
(第4号議案)

消防団員の定数確保が難しくなつてきている実情を踏まえ、団員確保の対策として、支援団員制度を導入します。支援団員は、災害活動など特定の消防事務を処理する団員で、支援団員として1年間勤務して退職した者には、退職報償金として、1万9200円が支給されます。

●**総務委員会での主な質疑**  
**問** 支援団員制度を導入することで、消防団への加入促進が見込めるか。

**答** 定数割れとなつている分団のOBの中には、災害活動には協力したいが、式典、訓練、点検など様々な行事への参加は負担が大きいのという理由で入団をためらう方が見受けられます。また、平成30年度をもつて退団予定の団員の中には、退団後も支援団員として残りたいという方もいます。それらを考慮し、20人程度の加入を見込んでいます。

●**副市長の選任**  
(第21号議案)  
副市長井澤勝明氏の任期が平成31年3月31日に満了することに伴い、同氏を引き続き副市長に選任することに同意しました。なお、任期は4年です。

### 3月定例会で議決された平成30年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
一般会計 (第5号)	臨時福祉給付金給付事業費等国庫補助金返還金 686万9千円	3億4,340万円	314億1,632万1千円
	障害者自立支援給付費等国庫負担金等返還金 1,676万1千円		
	生活保護費国庫負担金等返還金 2,760万1千円		
	竹島駐車場指定管理料 71万9千円		
	急傾斜地崩壊対策事業負担金 145万円		
	福井貞子教育振興基金積立金 1億円		
	新府相公民館建設事業費 1億9,000万円		
	債務負担行為追加 事項：竹島駐車場指定管理料 期間：平成31年度～平成32年度 限度額：153万6千円		
国民健康保険事業特別会計 (第2号)	国庫支出金返還金 9,110万円	9,110万円	76億5,690万円
土地区画整理事業特別会計 (第1号)	繰越明許費 1億7,484万円	—	14億6,740万円
下水道事業特別会計 (第3号)	繰越明許費変更(公共下水道整備事業) 補正前：2億6,100万円 補正後：3億9,330万円	—	25億8,790万円

### その他の議案

●**副市長の選任**  
(第21号議案)  
副市長井澤勝明氏の任期が平成31年3月31日に満了することに伴い、同氏を引き続き副市長に選任することに同意しました。なお、任期は4年です。

### 決議

#### ①第28号議案 平成31年度蒲郡市一般会計予算に対する附帯決議

審査結果 否決

(○内の数字は、決議案番号)

■ 全会一致で可決・同意した議案 (○内の数字は議案番号)

- ②職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正      ④消防団条例及び消防団員退職報償金支給条例の一部改正
- ⑤火災予防条例の一部改正      ⑥森林整備促進基金条例の制定      ⑦廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正
- ⑩景観条例の制定
- ⑬水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部改正
- ⑭遺児手当支給条例の一部改正      ⑮デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の廃止
- ⑰母子家庭等医療費助成条例の一部改正      ⑱市民病院特定認定再生医療等委員会条例の一部改正
- ⑲福井貞子教育振興基金条例の制定
- ⑳少人数学級編制の実施に係る市費負担教員の任用、給与等に関する条例の一部改正      ㉑副市長の選任
- ㉒公平委員会委員の選任      ㉓教育委員会委員の任命      ㉔固定資産評価審査委員会委員の選任
- ㉕西浦町財産区管理委員の選任      ㉖損害賠償の額の決定及び和解
- ㉗幸田町と蒲郡市との間における幸田町公共下水道事業の事務委託に関する規約の変更の協議
- ㉘平成31年度土地区画整理事業特別会計予算      ㉙平成31年度公共用地対策事業特別会計予算
- ㉚平成31年度三谷町財産区特別会計予算      ㉛平成31年度西浦町財産区特別会計予算
- ㉜平成31年度水道事業会計予算      ㉝平成31年度下水道事業会計予算      ㉞平成31年度病院事業会計予算
- ㉟平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ㊱平成30年度土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- ㊲平成30年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)      ㊳市道の路線認定

■ 賛否が分かれた議案・決議案

○：賛成 ●：反対

議案・決議案番号	議案・決議案名	自由民主党 蒲郡市議団											蒲郡自由クラブ			公明党 蒲郡市議団		無会派			
		大場康議	伴捷文	喚田孝博	大向正義	鎌田篤司	竹内滋泰	青山義明	尾崎広道	鈴木基夫	広中昇平	稲吉郭哲	牧野泰広	鈴木貴晶	伊藤勝美	松本昌成	大竹利信	日恵野佳代	来本健作	新美祥悟	柴田安彦
1	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
3	個人情報保護条例の一部改正	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
8	道路占用料条例の一部改正	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
9	公共用物の管理に関する条例等の一部改正	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
11	下水道条例の一部改正	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
12	水道事業給水条例の一部改正	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
16	保健医療センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
28	平成31年度一般会計予算	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
29	平成31年度国民健康保険事業特別会計予算	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
30	平成31年度後期高齢者医療事業特別会計予算	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
32	平成31年度企業用地造成事業特別会計予算	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
39	平成31年度モーターボート競走事業会計予算	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
40	平成30年度一般会計補正予算(第5号)	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
決議案1	第28号議案 平成31年度一般会計予算に対する附帯決議	○	-	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※伴 捷文議員は議長職により採決には参加していません。

### 東三河広域連合議会

2月6日、7日に東三河広域連合議会2月定例会が豊橋市議会議事堂で行われました。今定例会では、平成31年度一般会計予算、介護保険特別会計予算、条例案など計6議案を可決・同意しました。また、一般質問では蒲郡市選出の喚田孝博議員が「介護人材確保支援事業」及び「東三河ブランドショップ」について質問をしました。

### 5月臨時会予定

5月市議会臨時会は、5月14日(火)に開会される

予定です。

臨時会では、議案の審査のほか、正副議長の選挙、新議員による各常任委員、議会運営委員の選任等が行われます。

詳しい日程は、5月7日(火)に開かれる予定の各派代表者会議で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、市役所1階ロビーでもお知らせします。

議会だよりは点字版、  
テープ版・CD版も  
発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版・CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

### 議会日誌

12月21日から3月19日

#### 1月

- 22日 経済委員会
- 24日 文教委員会

#### 2月

- 14日 議会運営委員会理事会
- 18日 3月定例会招集告示  
議案説明会  
当初予算説明会
- 21日 議会運営委員会
- 25日～3月19日 3月定例会

#### 3月

- 19日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会理事会



こちら編集委員会  
66-1169

4月になり、波静かな三河湾には霞たなびく日も増えてきました。5月になれば、強まった陽射しを反射してキラキラと輝く海に変わっていることでしょう。

さて、3月に初めて蒲郡に寄港したダイヤモンド・プリンセスは、全長290m、総トン数115,875tという超大型の豪華客船で、約2,700名の乗客の方に蒲郡ならではのおもてなしを楽しんでいただきました。また、ラグーナ地区の高級リゾートホテルがオープンし、柏原地区工業用地の売却も順調に進んでおり、市内での新しい雇用の場の創出が期待されます。

今号でお知らせしている一般会計を初めとする各会計の平成31年度予算について、市民のみなさまが豊かで健康に、そして安心して暮らせるまちになるよう市議会でも審査し、可決いたしました。今後はその予算が適正に執行され、目的どおりの効果が出ているかをチェックしてまいります。

今年は改元、そして市制65周年の節目の年です。市民のみなさまと一緒にあって活力ある蒲郡市を目指し、市議会も活動してまいりますので、よろしく願いいたします。

### 議会だよりをスマホへ 配信します！

QRコードを読み込むか「マチイロ」で検索



無料です！

また、議会だよりは蒲郡駅（観光交流センターナビテラス）、市民病院、市立図書館にも置いてあります。

### 今月の紙 俊成卿とダイヤモンド・プリンセス

「泰平の眠りを覚ます上喜撰（じょうきせん）  
たつた四杯で夜も眠れず」

これは、4隻の黒船が来ただけで夜も寝られないほど大騒ぎになっているという黒船来航時の江戸の様子を詠んだ狂歌です。

3月27日の夜明けとともに現れた、白く、そして美しく輝くダイヤモンド・プリンセスを見た藤原俊成卿も、この歌のように目が覚めたのではないのでしょうか。そして、蒲郡の新しい時代の訪れを感じていたかもしれません。

